



**まつど未来づくり会議**  
～松戸の強みを活かした未来への指針づくり～

# **都市と産業分科会**

## **発表用資料**

**イマジンまつど**  
～私たちの明るい未来をつくる～

**平成21年11月7日（土）**

# 分科会委員

- 岩橋 秀高 (分科会長)
- 鎗田 弘子 (副会長)
- 尾崎 順邦
- 高橋 清
- 中臺 弘志
- 藤田 宗晴
- 三宅 治美
- 山下 烈
- 横山 元
- 丸田 英二
- 越智 章浩
- 宇野 荒樹



# 開催状況



- **第1回**：平成21年8月7日（金）17時10分～19時
- **第2回**：平成21年8月28日（金）13時～16時
- **第3回**：平成21年9月29日（金）15時～18時
- **第4回**：平成21年10月20日（火）15時～18時30分  
平成21年10月27日（火）16時～21時45分





# テーマ

## 第5節 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

1. 地域産業を振興し、豊かな経済活動ができるようにする
2. 個性を活かし、能力を発揮し働くことができるようにする
3. 安全でゆとりを感じるまちに住むことができるようにする
4. 誰もが安心してスムーズに移動できるようにする
5. 安全な河川に整備し、きれいな水とふれあえるようにする
6. いつでも安心して水道水が使えるようにする



**地域産業を振興し、豊かな経済活動が  
できるようにする**

# 目指したい姿の宣言文



**若者に魅力ある松戸のまちづくりに向けて、  
産・学・官・民・年代間の連携を継続的な取組  
にして、今ある資源を活かした、新しい松戸ら  
しい地域産業を生み出す**

# 指標案

- **連携機関数の数（プロジェクト数）**
- **産・学・官・民の連携機構ができる**
- **プロジェクトの参加人数**
- **プロジェクトから生まれた新しい産業数、  
事業数、就業人数**
- **プロジェクト実施後の事業売り上げ額**
- **他に誇れる松戸市の産業数、就業人数**

# 市民の役割



- **松戸市の現状を知る（農業・バイオを学ぶ）**
- **市民会議の開催**
- **市民による行政のチェック能力を強める**
- **市民は自己の利便の前に、松戸市にとってはいかにを考える**
- **プロジェクトへの積極的な参加**
- **市民は、「参画する・見守る・評価する・アイディアをだす」を心掛ける**

# 行政の役割

- 政策立案に市民が参画できる仕組みづくり
- 地域産業活性化のために、若者の起業に対する基金を設け、積極的に出資する
- 地域産業活性化のために、学問的な分野のバックアップをする
- 縦割り行政をやめて、「横」の連絡・調整を密にする
- 課題ごとのプロジェクトへ積極的な参加をする
- アイディアをだす
- 市民目線で考える
- 稼げる農業への転換をサポート
- 地産地消のためのサポートづくり



**個性を活かし、能力を発揮し  
働くことができるようにする**

# 目指したい姿の宣言文



**若者と熟年者の連携による松戸市の活性化のために、市内で誰でもが働きやすい環境をつくることによって、本市に住みたくなることを実現する**

# 指標案

- 高齢者・若者の就業率
- プロジェクト（連携）数
- 松戸を“知る” “見る” “感じる” “つながり  
を深める市民数”
- 活性化講座数
- 保育所・高齢者施設の待ち人数（広報で毎月発表）
- 耕作面積

# 市民の役割



- 市民は、若者の声に耳を傾ける
- 連携への協力
- 行政でできないことは市民の手で実現しようという意気込みを強くする
- 農業に関心を持つ
- 松戸市をやわらかい（ソフト化・知価化）まっどにするプロジェクトの立上げ。
- 特色ある地域モデルの創出

# 行政の役割



- **若者活性化プロジェクトの募集・とりまとめ**
- **自然の一環としての農業を守るため、若者の農業への参画を積極的に促す**
- **福祉関係の教育機関を誘致して福祉の市を目指す**
- **地産地消、観光を合わせた道の駅をつくる（松戸をアピールする場所）**

# 行政の役割



- **若者を権威や実績にとらわれず登用、活用する行政へ**
- **熟年者の連携を図る組織づくり**
- **資格を取得するため講座へ参加するとき、市民への支援制度を確立するよう、大学へ協力を要請する**



ゆとりを感じるまちに住むことができるようにする

# 目指したい姿の宣言文



**ふるさと松戸の共有化のために、産・学・官・民が連携することで、文化的で自然豊かなまちを実現する**

# 指標案



- 地区計画策定面積
- 遊休地の提供数
- 緑被率
- 公園面積
- 基金からの補助件数
- 基金の規模
- 活動中のプロジェクト数
- 今の生活に満足しているか
- 松戸にこれからも住みたいか

# 市民の役割



- 市民会議の開催
- 市内を歩いて良い所、悪い所を知り何が足りないかを考える
- 近所の人達との連携
- 市民はもっと自然とふれあい、楽しむ時間を持つ
- 遊休地を提供する（貸す）
- 地域を自ら見直す
- モンスター（エゴ）人間から、環境（エコロジー）人間へ

# 行政の役割

- 施設などのハード面ではなくソフト面での知恵を出す  
（施設の有効活用）
- 他分野の人の意見をよく聞く
- 意見交換できる場づくり
- 自動車道より自然保護へ政策のカジをきる
- 産・学・官・民が連携しやすい場を作る
- “まつどふるさとづくり” プロジェクトの立ち上げ
- 自然を生かした公園を整備する
- ふるさとづくり基金の創設
- 広報で知らせる



**誰もが安心してスムーズに移動  
できるようにする**

## 目指したい姿の宣言文



**人が安心して歩けるまちづくりに向けて、  
人と自然にやさしい道を整備することで、長く  
住み続けられるまちを実現する**

# 指標案



- 市民の提言の実現率
- マップ（危険な道）の作成数
- 歩道延長
- 歩道整備率
- バリアフリー整備率

# 市民の役割



- 市民は、行政に要求すればいい、やるのは行政という発想を捨てる
- 市民は、あきらめを捨て、夢を持ち実現に努力する
- 歩きにくい道、危険な道の基準を作って調べ、マップを作る
- 思いやりを持って歩く（マナーを守って利用する）

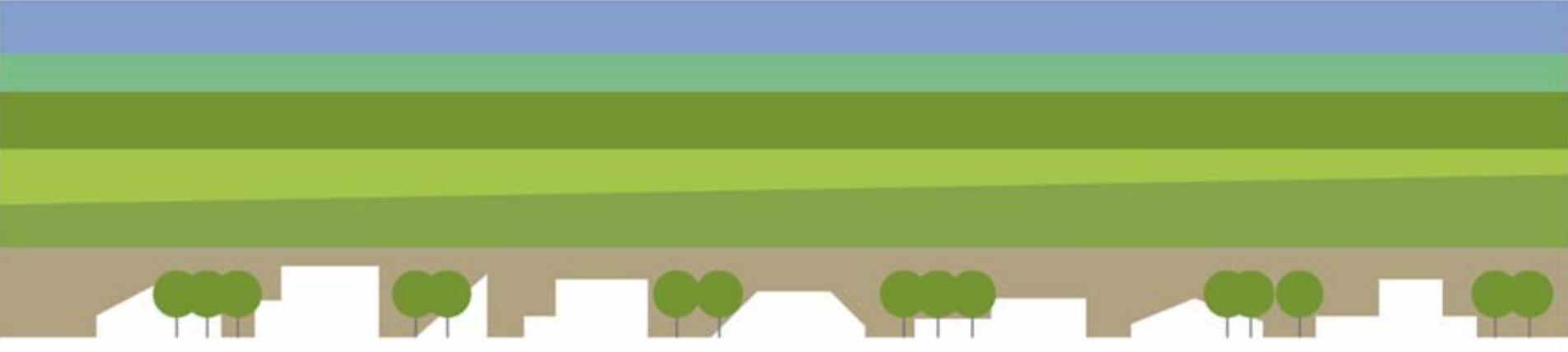
# 行政の役割

- 行政はできないできないというのを止めて市民と一緒に実現に協力する。どうすればできるかを説明をする
- 生活圏エリアは、バリアフリーの道に
- 将来に向けての全体計画を明確にする
- 安心度（歩道等の安全）の評価表を作成し、優先順位を明確にする
- 市内の道路の歩道整備の総点検を行う
- 道路は、まず、歩道を優先して設計する

# 行政の役割



- **道路の機能を高める（防災上、埋設物）**
- **道にふさわしい車両規制をする**
- **道路計画は市民の目線で**
- **計画の途中変更を！勇気を持って**



**安全な河川に整備し、きれいな  
水とふれあえるようにする**

# 目指したい姿の宣言文



**清流とゆたかな自然環境の保持に向けて、  
川に親しめるような整備をすることで、市民の憩  
いの場を実現する**

# 指標案



- **下水道整備率**
- **ゴミ量（河川浚渫時の）**
- **市民の通報数（河川への不法投棄など）**
- **川の浚渫回数**
- **江戸川を楽しむイベント数**
- **各河川の水質指標・生物数（生息する種類）**

# 市民の役割

- 家庭ごみをできるだけ減らす（企業も汚さない）
- 河川の浄化、環境づくりへの参加
- 川に対する認識（特に水道水への）の高揚
- 清流祭りなどの催し物を積極的に行なう
- 家庭の雨水浸透ますの設置
- 下水道に接続する
- 江戸川河川敷の新しい利用方法を考える（汚さないよう）

# 行政の役割

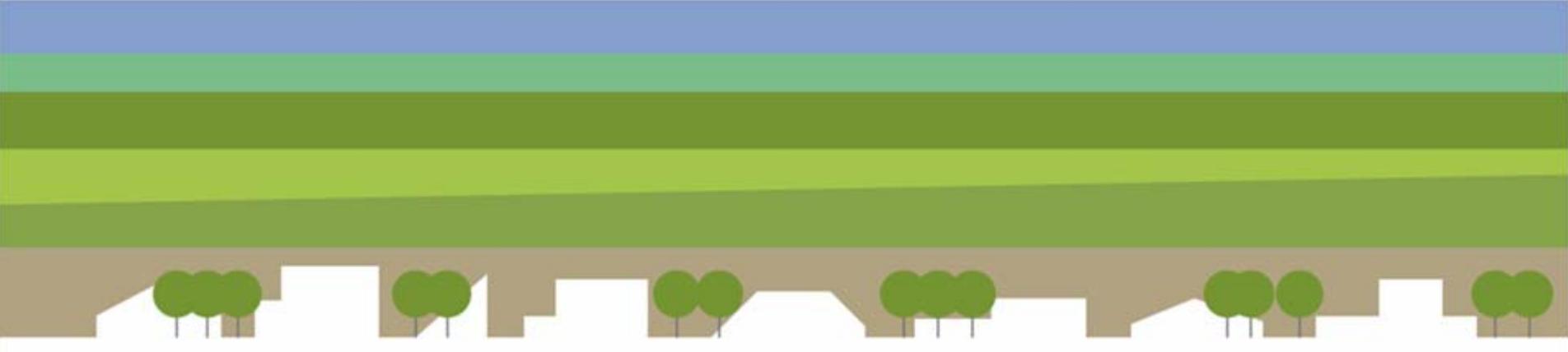


- 市内下水道を整備する
- 親水都市まつど宣言
- 雨水の浸透ます、浸透舗装の推進
- 市民個人の生活排水に対する知識を高めるための教育
- 合併浄化槽の補助の拡充
- 治水機能の強化
- 江戸川河川敷の新しい利用方法を考える
- 川に親しめる整備を行う

# 行政の役割



- 河川の監視・管理・指導
- 河川の清掃



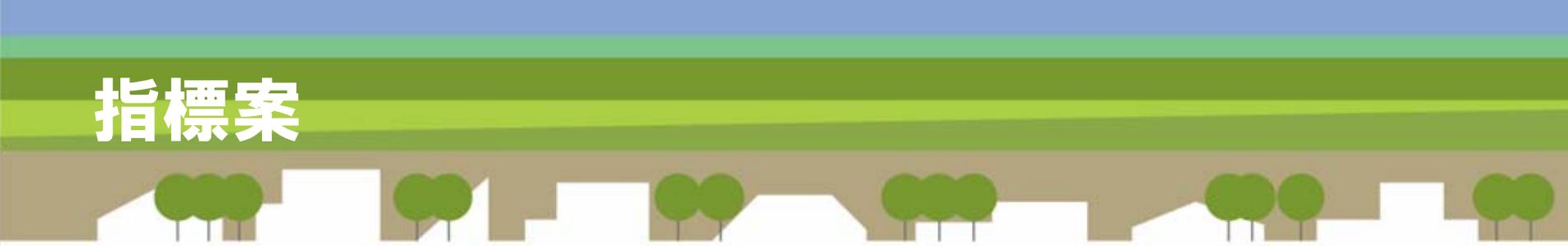
いつでも安心して水道水が使えるようにする

## 目指したい姿の宣言文



**いつでも水道水が使えるために、災害に強い  
施設を整備することで、引き続き、安定した飲み  
水を実現していく**

# 指標案



□水道水の漏水量

□水道使用量（企業・家庭）

□工事の実績（計画的な設備更新の進捗率）

# 市民の役割



□ 節水を心掛ける

□ 水道水への知識の高揚

# 行政の役割



- 万一に備えての市・県の連携、対応の充実
- 水道管等、施設のメンテナンスに関する合理的な計画と実施
- 安全でおいしい水の安定的供給
- 供給源の確保

□ **継続的にまちづくりを推進する市民と行政連携の仕組みづくり**

- **産・学・官・民がそれぞれの得意分野を活かし、さまざまなプロジェクトを運営する**
- **行政は、連携を支援する体制を整える**

# 今回の取り組みに対する分科会長としての想い

- 未来を語ることは楽しい
- 自分達が暮らしている松戸の未来を設計できるのは責任の重さを感じると同時に楽しいものでした。そして徐々に絵に描いた餅に終わらせたくないという気持ちが強くなってきました。明るく楽しい未来への変革エンジンを現在の仕組みの中に組み込み、自分達も参画して推進したいという気持ちで一杯です。みんなが住みたいまち松戸を実現しましょう！